

山形県村山市(第1回)・山形県寒河江市(第2回)



村山市
(第1回)



寒河江市
(第2回)



参加者の子供を抱っこする上川陽子女性活躍推進本部長と大沼みずほ支部長



第1回の女性版ふるさと対話集会は、山形県村山市からスタート。地元の大沼みずほ支部長(山形県参議院選挙区第一選挙区支部)、大内理加山形県連女性局長(山形県議会議員)、そして党本部からは上川陽子女性活躍推進本部長が参加しました。意見交換では「地域の産婦人科や小児科医師が不足している。不安なく出産できる環境を整えてもらいたい」「眼科や耳鼻科など毎日診てもらえる環境がない」といった地域医療の問題をはじめ

め、「少子高齢化で学校を統廃合するのではなく、各地域に保育園や小・中学校があつて初めて地域が成り立つ。地域は歩いて行ける距離の学校を望んでいる」といった声が寄せられました。

また、室内での遊び場が少ない雪国ならではの子育て環境の課題、平和安全法制や18歳選挙権など、生活に密着した女性の視点の意見もありました。

寒河江市では、「若者の雇用対策や若い人が安心して子育てできる街づくりを」「地域サービスをもっと高齢者にわかりやすくアピールしてほしい」「中山間地域も高齢化しており、山林を守る担い手がいない。山林なくして農地は守れない。新しい対策を考えてほしい」という声がありました。その他にも、TPPに関する不安や地域の農業についての支援などを求める意見が寄せられました。